完璧な乾燥技術が生んだ床暖対応ムクフローリング材

木材加工・販売の㈲グリーンウッド（愛知・扶桑町　石井秀和社長）は4月1日より、床暖房対応のムクフローリング材を発売する。これは同社の乾燥材ブランド『DRY.X』の新商品。同社は内装材をメインとしており、その乾燥システムには定評があった。今回、その乾燥機の性能を知らしめるには「一番難しい部分の乾燥を手がけることである」として、床暖房対応のムクのフロアー材を発売することになった。その含水率は5%以下で、鮮のある木には形状安定剤を使用（MSDS発行）しているが、除湿式の乾燥法だから色も変わらない。一般に床暖房対応ムク材だと75～85㎜幅が通常。しかし『DRY.X』シリーズは150㎜サイズまでラインナップ。まさに工務店の差別化にはもってこいの武器になる。

石井秀和社長

『DRY.X』のキャッチコピーは「Complete dryness」。"完全なる乾燥"という意味で、カマの中で、1週間で乾燥からエージングまでが完了する。

同社の石井秀和社長がグリーンウッドを設立したのは3年前。以前は木材市場に勤務し主に丸太材を扱っていた。

独立直後は加工専門で、乾燥は他所にまかせていた。しかしお客の工務店から「大工が施工したら、空いてしまった」とクレームがあり、乾燥は自分でやらなければいけないと改めて察したという。

そんな折、木材乾燥・加工のコンサルタントである廣﨑允彦氏（左囲み記事参照）と出会い、除湿式のすぐれた乾燥機を入手し「乾燥で付加価値のついた商品」を開発することになった。

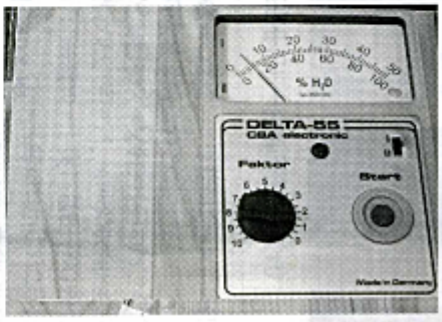
グリーンウッドが扱う床暖房対応ムクフローリング材は、岐阜・東濃のスギとヒノキ（FSC認証林より提供）。

直販システムで、個々の製品には、地域コード、メーカー番号、シリーズ番号を明記。品質にはとことん責任をもつ。

各設計価格は右表の通り（税込）。

グリーンウッドは羽目板、フローリング材をメインにしているため、構造材はオーダーメイドで受注。しかし乾燥カマの容量は構造材なら40㎥収容。背割の必要もない。

『DRY.X』シリーズはOEM制も導入し、既に、九州地区にはグリーンウッドよりも大きな乾燥機を設置している業者が、九州版の『DRY.X』を製造販売する。今年中には四国にも乾燥機を持つ拠点ができる予定。工務店、木材店の販売代理店も募集中だ。



含水率5%を達成するから、ムク材でも床暖房に対応が可能

水分傾斜は1%を達成 すべて5%の含水率を確保

㈲グリーンウッドの『DRY.X』は、木材乾燥・加工機のコンサルタントである廣﨑允彦氏（写真）が考案した除湿型木材乾燥機を用いて乾燥したもの。

廣﨑氏は、木材乾燥で一番大事なのは、水分傾斜がとれはじめる強調する。

大手乾燥機メーカーは、杉の芯持ち材（4寸角）なら4日で乾燥含水率が最低8%から。だから私の機械では、板材なら5～6%分傾斜もとれないからだ。そしてなによりも運転効率が一番良い。乾燥機を導入した後の式ではまず無理でしょう」と。

廣﨑氏の乾燥機は除湿式。しかもこの乾燥たって携わってきている。グリーンウッドが使用している乾燥機のニューバージョンが5月に発表されるが、レベル的には世界ナンバーワンといってもいいくらい。追随できる会社はないと自負している。

床暖房対応フローリング材の価格例

●東濃ヒノキ		
1820×90×15（特1）	3万9600円／坪	（20枚）
1820×105×15（同）	4万1600円／坪	（18枚）
1820×90×15（無地）	5万5440円／坪	（20枚）
1820×105×15（同）	5万7240円／坪	（18枚）
●東濃スギ		
1820×90×15（特1）	2万9600円／坪	（20枚）
1820×105×15（同）	3万1600円／坪	（18枚）
1820×90×15（無地）	3万5640円／坪	（20枚）
1820×105×15（同）	3万7440円／坪	（18枚）

完全な乾燥材だから家具並みの細工も可能

写真はリバーシブルのパーティション。木裏・木表をそれぞれに配置。サネが二重になっており、表側にスギ、裏側にヒノキというように組むことも可能。まさに家具に使えるレベルの十分な乾燥がこの加工を可能にしている。重ねても一切の隙間が生まれず、色のくすみもなく「源平」を生かした木の美しさが表れている。接着剤を使わなくてもよいため子供部屋の間仕切には最適。仮設住宅でも使用できる。グリーンウッドの乾燥システムのレベルの証明でもある。

迅速・確実・低コスト
任せて安心
構造計算なら
軸組工法木造住宅構造計算料金例
3階建て住宅¥75,000～
2階建て集合住宅¥175,000～
混構造住宅(S-RC)¥175,000～
「2x4」工法はお問い合せください。
★計算料金表はお気軽に下記までご請求ください。
(有)木造舎
〒240-0013
横浜市保土ヶ谷区帷子町1-21-1-601
TEL.045-331-2670
FAX.045-331-2682
http://kizukuri.co.jp
プログラム導入のご相談も承ります